

で5基、横
 高架橋(1
 基の合わせ
 す。
 製査からゴ
 えるもので
 策は
 度末には65
 る見込みで
 分は第三京

7.0%)で2300平方
 市境高架橋(300
)で600平方、道
 中坂橋(23%)で600
 平方、大熊高架橋(1
 40%)で1200平方
 横浜新道の権太坂高
 架橋で9千平方、合計
 2万800平方になり
 ます。性能規定で発注し
 ています。

次に
 実施
 80%の進捗
 施していま
 工事発注は
 万平方、
 1万700
 横道路で約
 予定してい

浜で約400、横浜新
 道で約30、横横道路で
 約350をを発注しま
 す。
 内訳は新設が130
 、高上げが650で
 す。横浜新道の法泉高架
 橋では遮音壁の高上げを
 するために壁高欄の補強
 工事を発注します。
 今年度末で遮音壁総延
 長は約60に達します。
 ーありがとうございます

は
 度は第三京
 ました

は
 度は第三京
 ました



京都国道事務所は京都第

二外環状道路の石清水大橋
 (橋長約450)と天王
 山大橋(578)で、雨天
 時に走行車両が大型ジョイ
 ント上で滑らないようジョ
 イント表面を加工する対策
 を実施した。最近同様の対
 策で、耐久性の観点から採
 用が増えているアモルフ
 ス合金溶射を使っている。
 石清水大橋と天王山大橋
 は、橋が長いのでジョイン
 トも巨大で鉄表面積が広い
 ことと、下り勾配で橋詰の
 交差点に入ることが重なり
 「一般のドライバーから信
 号手前のブレーキが雨天時
 に滑りやすいという声があ
 り、事故防止として(京
 国道)滑り止め対策を実
 施。15本のジョイント表面
 と排水蓋にアモルフアス合
 金溶射を施工した(写真)。
 これまで同様の滑り止め
 対策では樹脂を使うことが
 多かった。「樹脂も考えた
 が、タイヤに持っていけれ

やすく、すぐ飛んでしま
 う。今回のアモルフアス合
 金溶射はインシャルコスト
 はかかるが、20万回の耐磨
 耗試験をやってもコンクリ
 ートと同程度の摩擦係数を
 確保できている。交通規制
 をして何回も修復しなくて
 もいい。4種類くらいの工
 法をヒヤリングして、LC
 Cなどの観点からも採用を
 決めた(同)という。
 アモルフアス合金溶射と
 はミカサ金属工業が平成9
 年から展開する工法でNE
 TISに登録済み。「滑り
 止め効果と耐久性(道路関
 係者)で、高速道などを中
 心に採用が増えている。
 特徴は①緻密で高硬度の
 粗面を作ること滑り止め
 性能が得られ、また、施工
 厚さも微小で走行性を阻害
 しない、②滑り止め抑止効
 果の方向性を問わない、③
 溶射金属材料を直接溶融さ
 せて母材表面に吹き付けて
 皮膜を作るため、密着力・
 耐摩耗性に優れ、剥離など
 が起こりにくい、など。

京国
合金溶射で滑り止め

システム

NETIS登録
 特許申請中



URL <http://www.resitect.net>
 E-mail : info@resitect.net

吹付け施工状況



道交差部などに威力を発揮